

みつぎ便り

見次の会

板橋区役所みどりと公園課の花づくりグループと
エコポリスセンターの環境観察員地域自主活動グループに
所属しているボランティア団体です

97号
10月号

平成26年10月1日 <http://itbs-ecopo.jp/projects/environsurvey/2014/000253.html>



イヌシデ

残暑もあつという間に過ぎ、見次公園のサルズベリやヤマハギも去りゆく夏を惜しむかのよう、枝先に小さな花をつけています。

今回、ここでご紹介するのはイヌシデです。公園の集会所広場の斜面中ほどに三本。広場の方に傾いた幹は、そのまま空に向かって伸びています。太さを測ってみると外周約二mあり、高さは目測で十五m以上あるでしょう。

この木はカバノキ科の落葉高木で、雑木林でよく見かけます。幹は直立し、灰色の表面に白っぽい筋模様がある樹皮は、わかりやすい特徴です。5月に花を咲かせ、黄緑色の穂状に垂れ下がります。葉のふちは不規則なぎざぎざ(きよ歯)があり、ルーペで見ると葉の裏と細い柄(葉柄)に軟毛がありました。秋になると淡黄色に色づきます。

皆さまと、この木の季節ごとの変化を楽しみたいと思います。

(兼)

チャバネアオカメムシ

チャバネアオカメムシは、カメムシの仲間、体長は1cm前後で、からだの色は黄緑色をしており、はね部分の色が名前のとおり茶色をしています。

カメムシの種類は色、形、大きさもたいへん多くこれもカメムシ?と思われるものもいます。また、この仲間にはセミ、ウンカ、ヨコバイ、タガメなどがあり種類の多さに驚きます。

カメムシというとなまず思い出すのが、くさい虫の代表で嫌われものとして扱われます。この



くさい臭いは、生きるための防衛策といえます。触るなど外部からの刺激をしなければ臭いを発することはしません。

北から南まで、ほぼ全国に分布しており、雑木林、公園、畑などどこにでもごく普通に見ることが出来ます。四月〜十一月位まで見られますが、冬は窓の隙間など、暖かい場所に集団で越冬します。

見次公園でもこの種類のカメムシ以外のカメムシもいると思われ、ぜひ捜して見て下さい。

(圭)